



八千代市 農業委員会だより



わたしたちが新しい農業委員・推進委員です。よろしくお願いします!

就任のあいさつ

八千代市農業委員会会長 稲垣 哲也

本市農業に従事されている皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また日頃より農業委員会活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年7月農業委員改選後、初総会において委員各位のご推挙により会長に就任となりまして、光栄とともに責任の重さを痛感しております。

昨今、地球温暖化の影響による自然災害や世界情勢の急激な変動からエネルギー、肥料、飼料など様々な物価高騰が農業経営に重い負担となっています。そして高齢化、後継者不足、営農継続など将来の運営への影響が懸念されています。このような状況下、農業委員会では農地利用の将来ビジョンを描くため、3つの指針を定めています。

それは「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」です。

- ①遊休農地の発生防止・解消について
- ②担い手の農地利用の集積・集約化について
- ③新規参入の促進について

この3つの指針を基に農業に従事されている皆様の声を大切にしながら、農業委員・農地利用最適化推進委員と八千代市の農業の発展に寄与するため、当委員会を運営してまいります。

就任のあいさつ

会長職務代理者 佐藤 孝之

会長職務代理者を仰せつかりました佐藤です。

会長を支えながら、八千代市の農業に新しい風を送り込みたいと考えています。

八千代の農業を次世代に繋ぎ発展させるビジョンを描き、実現する方法を探っていきましょう。



新任の農業委員の紹介

任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日

(議席番号①～⑭順に掲載。主に担当する地区を掲載)



① たていし たけし
立石 猛

米本B(中宿・下宿・
稲荷前・逆水)地区担当



【会長職務代理者】

② さとう たかゆき
佐藤 孝之

小池・真木野・神久保・
島田台・大学町地区担当



③ すずき よしのり
鈴木 美登

大和田新田・緑が丘・
緑が丘西地区担当



④ かも たろう
加茂 太郎

米本A(辺田・砂戸・
内宿・上宿)地区担当



【中立委員】

⑤ まの けいいち
間野 恵一

下市場・勝田台北地区担当



⑥ たていし いわお
立石 巖

桑橋・島田・桑納
地区担当



⑦ すずき まさのり
鈴木 正範

勝田・勝田台・勝田台南・村上・
村上南・下市場・勝田台北地区担当



⑧ よしはし せいいち
吉橋 清一

吉橋・尾崎地区担当



⑨ いまい しげる
今井 茂

神野・保品・堀の内
地区担当



⑩ すごう たかし
周郷 崇

麦丸地区担当



⑪ くろさわ きょうこ
黒澤 京子

佐山・平戸地区担当



⑫ はなしま あつし
花島 淳

萱田・ゆりのき台
地区担当



⑬ くろさき れいこ
黒崎 玲子

上高野・下高野地区担当



【会長】

⑭ いながき てつや
稲垣 哲也

大和田・萱田町・八千代台・
高津・高津東地区担当



▲新任委員での農業委員会総会の様子

新任の農地利用最適化推進委員の紹介

(主に担当する地区を掲載)

任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日

第1区 (大和田区域)



しおのや まさと
塩谷 正人

大和田・萱田町・八千代台・
高津・高津東地区担当



ながおか みづえ
長岡 みづ枝

萱田・ゆりのき台
地区担当



しょうじ みのる
将司 実

大和田新田・緑が丘・
緑が丘西地区担当

【推進委員長】

第2区 (睦区域)



かどやま かつし
角山 克志

吉橋・尾崎地区担当



さいとう こういち
齋藤 孝一

麦丸地区担当



ふるいけ せいじ
古池 正二

桑橋・島田・桑納
地区担当



とだ しんいち
戸田 真一

小池・真木野・神久保・
島田台・大学町地区担当

【推進副委員長】



いちかわ よしみ
市川 善美

佐山・平戸地区担当

第3区 (阿蘇区域)



おおた まさあき
太田 雅章

勝田・勝田台・勝田台南・村上・
村上南・下市場・勝田台北地区担当



しだ けいすけ
志田 啓佑

米本A (辺田・砂戸・
内宿・上宿) 地区担当



なかむら しゅういち
仲村 秀一

米本B (中宿・下宿・
稻荷前・逆水) 地区担当



こばやし まさき
小林 正樹

上高野・下高野地区担当



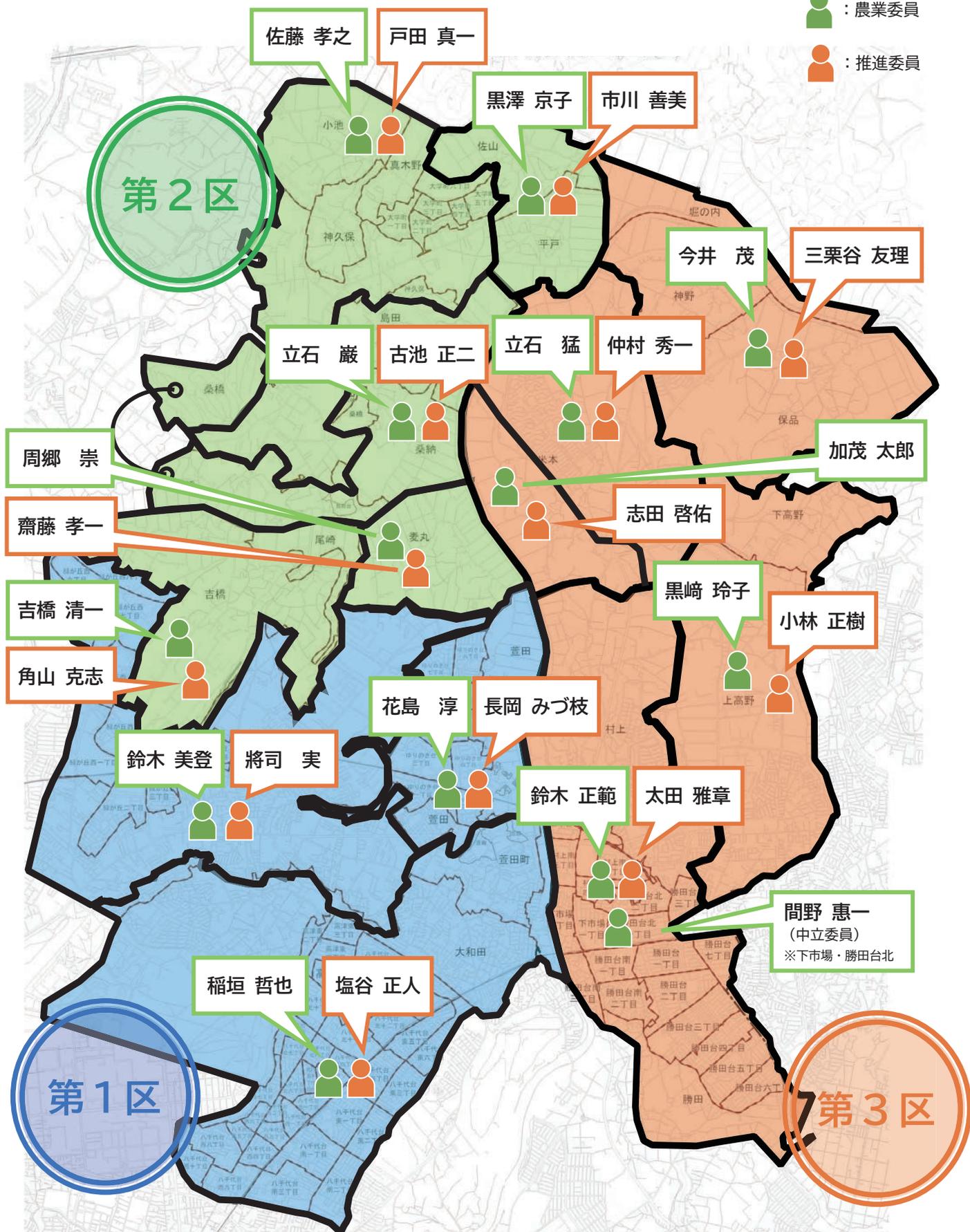
みくりや ゆり
三栗谷 友理

神野・保品・堀の内
地区担当

各担当地区(区域)図

● : 農業委員

● : 推進委員



令和6年度八千代市農業施策に関する意見書の提出について

令和5年9月12日、農業委員会から服部友則市長へ令和6年度八千代市農業施策に関する意見書」を提出しました。意見書の内容は次のとおりです。



1 耕畜連携の取組推進に向けて

昨今の肥料、飼料価格高騰による影響で、耕種農家、畜産農家共に経営状況が悪化している。八千代市は耕種農家、畜産農家が共存しており、様々な協力関係を構築することが可能である。耕畜連携では、畜産農家が生産する堆肥を土づくりに利用し、耕種農家が栽培した飼料用作物を家畜に給与する、循環型農業を推進することができる。

そこで、耕畜連携の取組を推進するために、農家が出した剪定枝等を活用し、堆肥を製造することができる「総合有機廃棄物処理場の整備」を推進されたい。

また、飼料用作物の生産に対する補助として、新規需要米生産支援事業の予算を確保されたい。加えて、これらの取組推進に向け、耕種農家、畜産農家の協議の場を設けていただきたい。

2 新規就農者確保への取組

八千代市においても、農業者の高齢化が進行し、担い手の減少が顕著であり、今後、担い手を確保するためには、市外、農業以外の業種からの人材確保が欠かせない。

近年、本市では新規就農希望者の相談件数が増加しており、着実な確保につなげるには、本市農業の長所を周知し、他市町村との差別化を図り、新規就農者を増加させることが重要である。

そこで、新規就農者の確保に向け、八千代市への就農に対するイメージアップに繋がるような広報活動等を推進していただきたい。

3 多目的防災網への市単独補助

多目的防災網は虫害や雹害、風害などの被害対策に有効であり、安定的な果樹栽培に欠かせないものである。

県事業である「気象災害に強い果樹産地支援事業」は、多目的防災網に対する補助の一つであるが、補助率が事業費の3分の1以内であり、十分なものとは言えない。

また、果樹棚と一体的な多目的防災網の整備及び再整備に対し補助対象となるため、多目的防災網のみの張替えには補助対象とならない事業である。

そこで、多目的防災網に対する市単独の上乗せ補助を創設され、事業化の際には、多目的防災網のみの張替えに対しても、補助対象となるように検討されたい。

4 遊休農地対策について

八千代市の遊休農地は約97ヘクタールが存在し、近隣地への雑草拡散、害虫の増加、景観の悪化等の影響を及ぼしている。一度遊休化した農地は、耕作が可能な状態への復旧に多大な労力を要するため、発生を未然に防ぐ対策が必要である。今後、担い手の不足により、遊休農地はさらに増加していくことが見込まれる。

そこで、離農予定者から担い手への事業継承に向けた取組、畑の区画の最適化や集積の推進に向けた取組により、遊休農地発生を未然に防ぐ対策を講じていただきたい。

また、水田の再基盤整備事業の推進や、農地耕作条件改善事業の更なる活用促進により、既存遊休農地の解消に取り組まされたい。

5 肥料価格高騰への対策

高騰を続けていた肥料価格は、令和5年度秋肥では下落に転じたものの、依然として高止まりの状況が続き、農家の経営を圧迫している。

昨年度、八千代市では肥料価格高騰対策事業として、前年度の肥料購入価格に対し、12%の補助がなされた。この事業では、施肥量削減等の取組要件を緩和したことで、簡易な申請手続で済み、農家の負担軽減にも繋がったものと評価する。

そこで、昨年度と同様に、肥料価格高騰対策事業の予算を確保されたい。

任期満了に伴い退任された委員の皆様

(五十音順・敬称略)

- ◆農業委員会会長 小名木 伸雄
 ◆農業委員 市川 和彦 島村 隼人 立石 勝則 安原 清
 ◆推進委員 櫻井 正浩 立石 秀夫 綱島 和朗
 中基 保美 長岡 勇

多年にわたり農業者の地位の向上と市の農業振興にご尽力いただきました。
 長い間委員活動ありがとうございました。



ご案内

農業者年金で 老後の生活に 備えませんか

- ★国民年金第1号被保険者(納付免除者を除く)・60歳以上65歳未満の国民年金任意加入者
- ★年間60日以上農業に従事
- ★20歳以上60歳未満の方ならどなたでも加入できます。

農業者年金にはメリットがたくさん！
**老後の備えは
 国民年金＋農業者年金 で！**

問い合わせ先

農業者年金のご相談・加入申込みは、JA 八千代市 (☎450-3711)
 または農業委員会事務局 (☎421-6793) へ。

ご案内



充実した農業・農村の情報が届く！

発行日：毎週金曜日 (月4回)
 購読料：月額700円 (送料・税込み)
 申込み先：農業委員会事務局 (☎421-6793)

編集後記

今期からの農業委員会だよりの編集を行う広報委員を紹介します。

委員長 立石 猛
 副委員長 黒澤 京子
 委員 市川 善美 太田 雅章 周郷 崇
 仲村 秀一 三栗谷 友理

以上7名で頑張っていきます。よろしくお願ひします。

令和5年11月発行
 第51号

発行 八千代市農業委員会
 編集 広報委員会

〒276-8501
 八千代市大和田新田312-5
 電話047(421)6793

🔍 八千代市 農業委員会だより